

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名		リニア見学センター								
指定管理者		都留市								
指定期間		平成18年4月1日～平成23年3月31日								
施設の使命・役割(運営目標)		より多くの人にリニアモーターカー及び山梨リニア実験線をわかりやすく紹介し、リニア中央新幹線の早期実現に向けて広く普及啓発すること。								
指定管理者が行う業務		施設及び設備器具の維持保全に関する業務 リニアモーターカーに関する情報の収集及び提供に関する業務 その他知事が必要と認める業務								
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容								
	築11年が経ち施設・設備の老朽化がすすみ、部品交換等が生じており更なる保守の充実を必要としているが、現在のところ稼働している。		施設の維持・管理については事業報告書や現地確認の結果、適正に管理されている。今後も看板リニューアルの例のように創意・工夫を凝らし入館者へのサービス向上に努めていただきたい。							
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容								
	観光地でないため、特に広報活動には力を入れており、大手旅行会社201件、地元関係施設40件に対して施設案内を配布した。 見学センターの施設・展示内容についての質問、走行試験情報、周辺観光・交通情報など様々な問い合わせに対応するとともに、リニアの走行試験が行われない日は、サービス向上のためリニアの歴史・構造・現状などを館内放送にて説明した。		事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。今後も創意・工夫を凝らし、入館者の増加やサービス向上のため努力されたい。							
自主事業の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容						
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声						
		施設の整備状況90% 展示品の充実度86% 超電導リニア等に理解できたか77% 総合満足度 満足57% 普通39% 不満足4% 満足度評価値=57/(57+4)=93%		実物車両を展示してほしい 休日に走行試験が見たい リニアに試乗してみたい 子供が楽しめる展示がほしい						
	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容						
		今後利用者生の声を聞き、改善できる点はしていきたい。なお、超電導リニアについては、事業者であるJR東海の意向により決定するため、当センターとしては改善困難な点が多々ある。		満足度評価値は非常に高いが、入館者の要望や満足度から施設利用にあたり何が課題となっているのか的確に把握する必要がある。アンケートの結果からは、リニアについての理解度と総合の部分で「まあまあ出来た」や「普通」との回答が多く、そのような回答は展示品の充実度や試乗会の中止などに起因するものと考えられる。しかしながら試乗会の中止などによるものについては指定管理者のみで解決できる課題ではない。						
利用者数	H18年度実績(人)		H19年度計画(人)		H19年度実績(人)		H20年度目標(人)			
	111,019		81,000		98,538		81,000			
評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容						
		事業計画の入館者目標を達成できた。 ・来年度も目標がクリアできるようPR強化を図っていく。 ・リニア試乗会が終了したため、今後入館者数の減少が予想されるが現状を維持するため創意・工夫を凝らした運営を行っていく。		平成19年度計画を上回っているが、平成19年4月にJR東海がリニア試乗会を終了したことから、今後も入館者の増加が図られるよう、自らPR強化を図られたい。						
収支の状況	科目		H19年度計画額(円)		H19年度実績額(円)		差額(計画額-実績額)(円)		H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	無料施設		無料施設		無料施設		無料施設	
		指定管理料	18,000,000		18,000,000		0		18,071,000	
		その他収入	104,000		1,101,920		-997,920		0	
		計	18,104,000		19,101,920		-997,920		18,071,000	
	支出	18,104,000		19,001,920		-897,920		18,071,000		
差し引き(収入-支出)	0		100,000				0			
評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価						
		・修繕費が計画より大幅に増えたことに対応するため、節電等に努めて経費を切りつめた。 ・利用者サービスの向上のため案内看板をリニューアルした。		・必要な修繕を行う中で経費節減に努めていることは評価できる。 ・リニアカラー(白地に青)を積極的に取り入れた看板は利用者サービスの向上とリニアイメージの醸成に成功している。						
施設の運営目標の達成状況		入館者数は誘客活動の強化(雑誌、報道機関、観光業者への情報提供等)、サービスの充実(展示品の充実等)により目標を達成した。 技術開発を行っているJR東海が平成19年4月に試乗会を終了したことから、今後入館者数は減少することが予想される。								
総合的な評価及び改善事項		維持管理業務、サービス関係、施設の利用状況、利用者満足度等について、事業報告書を確認したり、現地へ赴き確認した結果、適正に業務執行されていると判断できる。 引き続き「より多くの人にリニアモーターカー及び山梨リニア実験線をわかりやすく紹介し、リニア中央エクスプレスの早期実現に向けて広く学ぶ場を提供する」という当施設の使命・役割の達成に努めること。								